

平成23年度 事務事業評価シート

課名		商工労働課		観光振興係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	7	観光・交流の振興	1	観光・交流資源の整備・充実			
事業名	産業観光事業								
予算費目	款	7	商工費	項	1	商工費	目	4	観光宣伝費
	細目	1	観光宣伝費	細々目	1	観光宣伝費	会計種別		
事務区分(根拠法令)		自治事務 ( )			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
観光ニーズが、多種多様化している現代において近代化産業遺産が徐々に注目を浴びており、産業観光のニーズが高まっている。このような中、本市においても新たな観光の発掘として、産業遺産見学を含む産業観光に平成19年度から取り組んでいる。		新たな観光資源としての産業観光を行うことにより、交流人口の増加と地域産業の振興を図る。また、本事業を通じて、CSR(企業の社会的責任)の振興と市内企業のイメージ向上を図る。		山口県、宇部市及び美祢市と連携し宇部・美祢・山陽小野田産業観光推進協議会を組織し、広域圏による産業観光の推進を行っている。	
活動指標			成果指標		
募集型ツアー催行回数(本市催行分)			産業観光ツアー参加者数(本市催行分)		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
9回	8回	150名	96名	64%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金	540,000	540,000	財源(割内訳)	国庫支出金	( )	
					県支出金	( )	
					地方債	( )	
					その他	( )	
合計	540,000	540,000	一般財源		(100)	540,000	540,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)	合計	540,000	540,000	
		0.3	1,812,300				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	B 有効性が認められる	B 効率性が認められる	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題		改善策	
産業観光ツアーの認知度が低い。新たなエスコーターの養成。		魅力的なコースを作るとともに積極的な広報活動を行い、参加者の増加を図る。エスコーターの研修会や養成講座を開催する。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
B	事業の実施方法やコスト等について改善する検討が必要 当面は現在の施策を継続していく。	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

## 平成23年度 事務事業評価シート

課名		商工労働課		観光振興係		No	2	
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)		小項目(基本事業)		
	12	魅力と活力ある産業の振興		7	観光・交流の振興		1 観光・交流資源の整備・充実	
事業名	観光資源の整備・充実							
予算費目	款	7	商工費		項	1	商工費	
	細目	1	観光宣伝費		細々目	1	観光宣伝費	
事務区分(根拠法令)		自治事務			( )	予算種別	継続	経常

## 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
山陽小野田市には、多くの観光資源が存在するが、整備等が行われていないところもあり、十分に活用できていない。また、平成19年度に、セメントと窯業関係の施設が経済産業省の近代化産業遺産に認定されている。		観光資源の開発を行い、観光客の増加を図る。		観光資源の調査研究を行い、整備・充実させる。また、観光案内看板を設置して観光客の利便性を図る。本市で一番高い山である松岳山展望台及び登山車道肩の草刈を行い、頂上付近を展望台として活用する。	
活動指標			成果指標		
看板設置数			観光客数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
3力所		2力所		126.5%	
目標値A(単位)		実績値B(単位)			
660,000人		834,976人			

## 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	345,000	343,450	財(源割内合訳)	国庫支出金 ( )		
	使用料及び貸借料	124,000	123,730		県支出金 ( )		
					地方債 ( )		
					その他 ( )		
			一般財源 (100)		469,000	467,180	
合計		469,000	467,180	合計		469,000	467,180
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	302,050				

## 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	B 有効性が認められる	B 効率性が認められる	A 目標どおり達成している

## 4 ACTION

課題		改善策	
観光資源の新規整備は、予算の関係上困難。また、既存資源についての調査研究も多くの意見と費用が必要。既存の観光案内看板について、修正が必要なものがある。		山陽小野田観光協会と連携して、各種分野の意見を集約する。計画的に観光案内看板の設置を行う。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当		B
	当面は現在の施策を継続していく。		
事業の実施方法やコスト等について改善する検討が必要			
その他			

平成23年度 事務事業評価シート				課名	商工労働課	観光振興係	No	3
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興		7	観光・交流の振興		1	観光・交流資源の整備・充実
事業名	観光推進団体組織の支援・連携							
予算費目	款	7	商工費		項	1	商工費	
	細目	1	観光宣伝費		細々目	1	観光宣伝費	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ( )				予算種別	継続	経常

## 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
観光振興を図る上では、多種多様な要素が含まれる為、交通・経済・歴史など各種分野の人材が必要となる。その各種分野の多くの人材が所属する山陽小野田観光協会の活性化は、観光振興を図る上で不可欠であり、各種分野の様々な視点において観光振興を推進する。		山陽小野田観光協会の活動を支援し、観光振興を図ることにより、観光業務を推進し、交流人口の増加と地場産業の推進を図る。		山陽小野田観光協会に団体運営補助金を交付し、支援する。国のふるさと雇用再生特別基金補助事業を活用して、観光協会に委託して観光交流促進事業を実施する。	
活動指標			成果指標		
観光協会の補助及び育成事業数			観光客数		成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)	実績値B(単位)
24事業		21事業		660,000人	834,976人
					126.5%

## 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金補助及び交付金	3,496,000	3,496,000	財(源割内合訳)	国庫支出金 ( )		
					県支出金 ( )		
					地方債 ( )		
					その他 (34)	1,197,000	1,197,000
					一般財源 (66)	2,299,000	2,299,000
合計		3,496,000	3,496,000	合計		3,496,000	3,496,000

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.3	1,812,300

## 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	B 有効性が認められる	B 効率性が認められる	A 目標どおり達成している

## 4 ACTION

課題	改善策
平成23年度をもって国のふるさと雇用再生特別基金補助事業が終了し、観光協会職員の雇用期間が満了となり、これまで積み上げられてきた成果が維持できない可能性がある。	職員体制の充実を図り、また観光協会との連携をさらに深めながら観光振興に努める。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
	当面は現在の施策を継続していく。		

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		商工労働課		観光振興係		No	22	
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興		7	観光・交流の振興		1	観光・交流資源の整備・充実
事業名	観光資源景観整備事業							
予算費目	款	7	商工費		項	1	商工費	
	細目	1	観光宣伝費		細々目	1	観光宣伝費	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ( )				予算種別	新規	臨時

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
平成22年10月、国の重点分野雇用創出事業の拡充により、JR美祢線の利用促進と市内観光資源の景観整備を、美祢市・長門市と足並みを揃えて実施することとなった。		観光資源の景観整備を行うことにより、気持ちよく訪れていただける環境とし、観光客の増加を図る。		JR美祢線沿線道路(大字鴨庄地内)の草刈及びコスモス植栽と国体会場周辺道路(大字小野田・大字福田地内)の草刈・枝の刈込及びコスモス植栽を実施する。また、菩提寺山市民の森ハイキングコースの枯損木・倒木の伐倒除去や草刈、側溝の清掃や案内板を設置する。	
活動指標			成果指標		
整備事業実施箇所			緊急雇用人数 観光客数		成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)	実績値B(単位)
4か所		4か所		13人 660,000人	13人 834,976人
					100 126 %

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	10,000,000	9,103,500	財(源割内訳)	国庫支出金 ( )		
					県支出金 (100)	10,000,000	9,103,500
					地方債 ( )		
					その他 ( )		
			一般財源 ( )				
合計		10,000,000	9,103,500	合計		10,000,000	9,103,500
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	302,050				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
緊急雇用創出事業臨時特例基金補助事業による事業実施であり、平成23年度の単年度事業である。観光資源の景観整備は継続して実施する必要がある。		財源を確保し、継続的な事業実施を行いたい。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当		C
	A評価となるが単年度事業のため、終了する。		
		事業の抜本的な見直し又は休止・廃止の検討が必要 単年度終了事業	

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		土木課		河川港湾係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	7	観光・交流の振興	1	観光・交流資源の整備・充実			
事業名	きららビーチ焼野管理事業								
予算費目	款	8	土木費	項	3	河川費	目	1	河川管理費
	細目	1	河川管理費	細々目	1	河川管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ( )			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
「焼野海岸C.C.Z整備事業」により新たな観光資源として「きららビーチ焼野」が整備され、維持管理について山口県より市に委託されている。	「きららビーチ焼野」が市南部の観光・交流資源として多くの人に利用してもらえるように、海岸施設と排水処理施設の適正な管理を行う。	県との委託契約に基づき、施設の維持管理に要する費用を市が負担し、指定管理者に委託するほか、施設の修繕を行う。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
修繕料		年間利用者数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	69 %
1,300(千円)	577(千円)	20,000人	13,853人	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	修繕料	1,300,000	576,450	財(源割内訳)	国庫支出金 ( )		
					県支出金 ( )		
					地方債 ( )		
					その他 ( )		
			一般財源 ( )		1,300,000	576,450	
合計		1,300,000	576,450	合計		1,300,000	576,450
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	604,100				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題	改善策
利用者の中には、夜間に騒ぐ、犬を散歩させて糞の処理をしない、花火やバーベキューの後片付けをしないなど、マナーの悪い人がいるため、近隣の住民から利用者への指導が望まれている。	沿線の施設管理者や地域の方々等で組織された焼野安全対策推進連絡協議会で利用に関する協議を行う。施設の利用に関するチラシを作成配布し、利用者への指導を強化する。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	きららビーチ焼野でのイベント ・やけの美タフェスタ ・山口県ふるさと風あげフェスティバル

## 平成23年度 事務事業評価シート

課名		商工労働観光課		観光振興係		No	1	
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)			
	12	魅力と活力ある産業の振興	7	観光・交流の振興	2	情報発信・誘客体制の強化・充実		
事業名	観光情報の発信							
予算費目	款	7	商工費		項	1	商工費	
	細目	1	観光宣伝費		細々目	1	観光宣伝費	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ( )			予算種別	継続	経常	

## 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
市観光パンフレットの配布や市及び観光協会のホームページ等により情報発信を行い、観光振興を推進する。さらに広いネットワークをもつ山口県と情報発信を連携することで、高い効果を見込む。		市独自の観光パンフレットの作成・配布やホームページの充実に加え、山口県の観光情報誌やHPなどの広報媒体掲載、DCなどの大規模イベント参画により広く観光客並びに観光エージェントへの情報提供を行い、交流人口の増加を図る。		観光協会に事業を委託し、観光情報の発信を積極的に行うとともに山口県観光振興団体に加入し、本市からの観光情報提供を行うことにより、山口県観光振興団体から多方面への情報発信を行う。	
活動指標			成果指標		
観光協会ホームページアクセス数(2011年度)			観光客数(2011年度)		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
30,000件		27,342件		126.5%	
目標値A(単位)		実績値B(単位)			
660,000人		834,976人			

## 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	600,000	600,000	財(源割内訳)	国庫支出金 ( )		
	委託料	3,600,000	3,599,392		県支出金 (86)	3,600,000	3,599,392
					地方債 ( )		
					その他 ( )		
			一般財源 (14)		600,000	600,000	
合計		4,200,000	4,199,392	合計		4,200,000	4,199,392
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.2	1,208,200				

## 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	B 有効性が認められる	B 効率性が認められる	A 目標どおり達成している

## 4 ACTION

課 題		改 善 策	
ホームページの充実。		最新の情報が提供できるよう更新を行う。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
	当面は現在の施策を継続していく。		
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		商工労働観光課		観光振興係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	7	観光・交流の振興	3	特産品づくりの振興			
事業名	特産品の振興・支援								
予算費目	款	7	商工費	項	1	商工費	目	4	観光宣伝費
	細目	1	観光宣伝費	細々目	1	観光宣伝費	会計種別		
事務区分(根拠法令)		自治事務 ( )			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
山陽小野田市には、魅力ある特産品が数多くあるが、市外県外にはあまり認知されていない状況にある。		山陽小野田名産品を認定して推奨することにより、交流人口の増加や名産品の販路拡大を図る。加えて地域経済の活性化により、産業振興につなげる。		山陽小野田観光協会に委託して、市内で製造、加工又は生産されている商品を名産品に認定し、山陽小野田名産品の物産展の開催やホームページ、パンフレットにて情報発信を行う。			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)		
物産展参加市内企業数			山陽小野田名産品認定件数				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
10企業		11企業		30件		30件	
100 %							

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財(源内訳)	国庫支出金	( )	
					県支出金	( )	
					地方債	( )	
					その他	( )	
合計		0	0		一般財源	( )	
				合計		0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.35	2,114,350				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
山陽小野田名産品の認知度を上げる。		マスコミ等を活用する。名産品フェアの継続開催。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
	当面は現在の施策を継続していく。		
その他	予算計上は12-7-2		